



三條北ロータリークラブ週報

ENJOY ROTARY!

ロータリーを楽しもう!

国際ロータリー会長 ヒュー M. アーチャー 第256地区ガバナー 吉野一郎

例会日

1990. 1 . 9

累計 No 154

当年 No 25

会長／平松利朗

幹事／稲田憲治

SAA／笹原勝治

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三條ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三條市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事：「年頭の挨拶」会長平松利朗君

出席：本日の出席 49名中40名

先週の出席率 48名中41名 85.42%

先週のメークアップ：12月25日 新潟北RCへ 山上茂夫君

12月27日 三條RCへ 本間建雄美君 佐藤啓策君 高橋彰雄君

ビジター：三條RCより 野村竹三郎君 中村和彦君 渋谷健一君 大谷幸平君
伊藤広一君

会長挨拶：平松利朗

明けましておめでとうございます。長いようで、終ってみれば短かった「お正月休み」でしたが、皆さんは如何お過ごしだったでしょうか。酒を飲む機会も多く、またご馳走の連続で、さぞかし体重が増え、またまたゼイ肉が着いたことだと思いますが如何でしょう。今日あたりから「正月休み」も終って、仕事も本番です。お互いまた、一生懸命仕事に取り組んで、体を引締めたいものがあります。昨今の頃は昭和天皇の崩御の直後ということで、世の中全体が自粛ムードでいっぱいでしたが、今年はそんなこともなく、また、国内的には事件らしい事件もなく、全く平穏なお正月を迎えることが出来ました。ただ、国際的には見ますと平穏どころではなく、アメリカ軍のパナマ侵攻やルーマニアの政変などX'マス気分になっていた世界の人々をびっくりさせました。米ソの雪解けを決定的にしたマルタ会談も、東西の「ベルリンの壁」が取り払われるという歴史的事件も、止めて止まらぬ東欧の自由化の波が押し寄せた結果であります。また1992年のECが目前であります。今や、世界の政治、経済が大きく変わろうとしております。現在、日本経済は絶頂期にあります。会員の皆さんの企業も好況の中で昨年1年を過ごされたと思いますが、しかし、この先不安材料がないわけでもありません。アメリカとの貿易摩擦の問題、地価の暴騰、株高に象徴される金余り現象、それと最近とみに顕在化してきた「人手不足」の問題等、どれをとっても簡単に解決できる問題ではありません。しかしまた、企業経営に携わる者としては避けて通るわけにも参りませ

取り上げられていました。あるときはスエズ運河が閉鎖されて、油がテーマになった時代、日本に油がなかったらどうなるのか、国中が多騒ぎしたことがあったね、あるいは、物ということが大きなテーマとして取り上げられた時もあった、トイレットペーパーというものでなくなってしまった時代もあったね。それから何でもかんでもコンピュータ機械は全部ICが入らなければ機械じゃないということ、ついこの間までそんなこともありましたね。これからの1990年代何がテーマになるんであろうかと、僕なりに考えたら、人という事がテーマになるのではないかと、僕は考えて話しました。その人は、量という問題、それから今一面、質という問題、その両面から大きなテーマになって行くのではないだろうかと思ひます。現に、現在そうでありますけれども、そうですね、話を致しました。ところで大企業は、量の面でも、質の面でもみんな引っ張っていっちゃうねと、で我々の小さい商店はいったいどうなるんでしょうかと、大変不安を覚えながら、正月をおくりました。しかしここでごっかりしないで、考え直そうではないか、とみんなに訴えた訳であります。皆さん方、社員であります、1人1人素晴らしい個性を持っているのではないかと、話しましたが一人非常に『ねくら』の男がいるんです、困っておりますが、でも電気のことが非常に詳しいのです。その彼に大変元気付けてやりました。ねくらのままで良いじゃないかと言ってあげました。そんなことで、1人1人言いまして、みんなの個性を發揮しようよと、そしたら大企業に負けないぜ、と言うような話をした訳であります。最後にみんなで、コミットメント・参加しよう、参加していったい何だろうかと、話が苦手の人にも『にこっと』笑うだけでも参加だよ、と言ったんです、ただ悪いことでは、いけないことは、足を引っ張る事だけは止めようねと、こんな単純な年頭の挨拶を梨本商店に致した訳であります。一生懸命質の向上を図っております、これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。私事を披露した訳ですが、どうもありがとうございました。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

1月16日例会： 休会

1月23日例会： クラブフォーラム「ロータリー情報委員会」

1月30日例会： 1990年「新春の集い」さどや

ん。お互いに精一杯努力して、この1年間を対処してゆきたいものと思います。さて、北RCの今後半年はどうでありましょうか。ガバナーの公式訪問等、既に決められた行事については大体こなしてきたようですが、これからは「スマイルボックス」資金の使い途など、北Cのオリジナリティーが求められるものが残っております。年度後半の事業については、今月に予定しております。「委員長連絡会議」で詰めたいと思いますのでよろしくご協力のほどお願い申し上げます。年頭に当たり、北Cにとって今年が実り多い年でありますよう祈念し、新年会長挨拶と致します。

幹事報告： 稲田幹事

◇例会変更

①燕RC

日時 1月25日(休) 新年会

②三条RC

日時 1月24日(休) 会場 VIP玉姫殿

日時 1月31日(休) 会場 VIP玉姫殿

③三条南RC

日時 1月22日(月) 会場 VIP玉姫殿

日時 1月29日(月) 18.30～ 新年会 会場 魚作

ニコニコボックス：

伊藤広一君 (三条クラブ)新年明けましてお目出とうございます。本年も御指導の程よろしくお願い致します。

中条耕二君 平松年度も後半年です。今年も景気がつづきます様に良い年にしたいものです。
平松利朗君 年頭に当り、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。(会員諸兄への年賀状に代えてBOXへ。)

坂内康男君 新年お目出とうございます。本年もよろしくお願いします。

大野新吉君 明けましてお目出度うございます。今年は馬年、私の年でございます。サラブレッドではなく、又この1年農耕馬のごとく地道に額に汗いっぱいかいて働く決意でございます。宜しく願い申し上げます。

早川滝雄君 明けましておめでとうございます。本年も良い年でありますように、

吉川吉彦君 新年を向えて、新しくまた楽しい一年となることを祈念いたします。

佐藤啓策君 皆様、明けましておめでとうございます。本年も宜しく御願い申し上げます。

梨本清一君 新年のカレーライスもオツなものです。また今年も火曜日の昼食を楽しみます。どうぞよろしく。

高橋彰雄君 今年もよい年でありますように。

山上茂夫君 お蔭様でよい年を迎えることができました。早川さん新年会は楽しく過させて戴

している粗大ごみ、14インチのカラーテレビでしたが立派に映っていました。勿論冷蔵庫も立派に機能していました。それほど日本人がものを大切にしない事もございますが、これは、今の若い人の生まれた環境が非常に豊かで恵まれていると理解しております。このあと、お2人の話もありますので、この辺で終わりますが、これからの経営者は人の心理をつかんで経営をしないとなかなか若い人を使いこなせない時代となって来たと思います。従いまして、職場の環境をよくすると同時に従業員のお父さん、お母さんはどんな仕事をしていたのかという事も調べておく必要があるのではないかと思います。私の娘婿が中山競馬場勤務していますので、時々聞いてみますと、優勝する馬は、やっぱりお父さん、お母さんは立派な馬だそうです。あるいは、おじいさん、おばあさんが立派だそうです。駄馬からは出ないそうであります。これは遺伝学上そうなるのだそうであります。しかし人間はそれを上回る環境を作っていく素晴らしい動物であると思っております。どうぞ皆様は本年は良い年でありますことをと、自分の環境、職場、それぞれ皆様はリーダーでありますので、環境、職場を良くする。又は我々は北クラブの環境を良くしていく事でクラブライフを楽しんで行くと、今年は大事ではないかなと年頭に感じた訳であります。決して正月は嫌いじゃないですが、酒をのめるのだけは大好きですが、あと何日という年末が嫌いでありまして、訂正を致しまして、今年も元気で頑張りたいと思います。どうぞ今年も宜しく願い致します。

樋口金占君

おめでとうございます。何もわからない、この私がよく1年もったものだと思っております。皆様もご承知の通り話すことが大の苦手のこの私、本当に1年間ありがとうございました。突然のことで、何を話そうかちょっと考えた訳ですが、私の二十歳の正月をちょっと思い出して話をしたいと思います。昭和23、4年頃商売のほうも、皆さんご存じの通り今ほど、整備、金融機関も整っておりません、暮れの31日は集金日で夜は、皆様の家へおじゃまして、1年の掛けをいただきに、一軒一軒回った覚えがあります。ところが行った先も集金で帰って来ない、ということで2回、3回と回り、全額もらったり、一分もらったり、色々有りました。そんなことで大変な時代でした。たまたまそんな二十歳の正月うちのおじいさんから二十歳になったんだから、一軒一軒回って来いと言われ、朝の8時頃ちょうど雪が降ってしまして一軒一軒、おめでとうございます、今年もよろしくお願い致します。と回った思いがございます。今はそんな行事もなくなってあります。当時はこんなでしたが現在は、複雑又は活気有る世の中になってあります。我がクラブも48の名大所帯となっております、私みたいな年寄りでも引っ張ってもらって楽しいクラブにしてもらいたいと思います。簡単でありますこれで終わります、今年も宜しく願い申しあげます。

梨本清一君

先程も話しの中に、人という話が出て参りましたが、私も実は私のちっぽけな会社の年頭挨拶にこんな話を致しました。過去の年代年代を振り返ってみますとそれぞれ時代に即応した、テーマが